



平成29年度 第1回 みみらんどセミナー

☆実施日時☆ 平成29年5月10日（水）13:15~14:30
 ☆テーマ☆ 「きこえにくい子どもの育ちを支えるために
 ~きこえにくさの理解と連携~」
 ☆講師☆ 福島県立聴覚支援学校福島校 教諭 今野千寿先生



「きこえにくいということ」

きこえにくい子どもの困り感は、個人差が大きい。聴覚からの情報が制限されるため、自分では困った状況に気付かずに、困り感を訴えられない子もいます。

「きこえにくい子どもの育ちをささえるために」

〇コミュニケーションの土台をしっかりと作ることが大切。

↓
全人的な成長につながります。

※きこえにくいこと = 子どもの一部分

サポート1：きこえにくさの改善
補聴器、人工内耳、集団補聴システムの活用

サポート2：環境面への配慮
・雑音や騒音の軽減 ・視覚情報の提示 等

サポート3：人としての育ちを支える支援
・子どもの全体像をとらえた子育て支援
・ケースバイケースのサポート

「サポートと連携」

☆保護者支援と地域支援☆

- ・乳幼児期（0～2歳頃）：早期補聴環境、子育て
- ・幼児期（3～5歳頃）：補聴環境、子育て
- ・学童期（6～12歳頃）：補聴環境、自己認識
- ・少年期（13～15歳頃）：自己理解・他者理解
- ・青年期以降（15歳以降）：よりよい人間関係作り

☆関係機関同士の連携☆

- ・きこえとことばの連絡協議会
- ・就学指導審議会
- ・特別支援教育コーディネーター

※年代や環境等で、きこえにくさによる困り感はそれぞれ異なる。

国 障害者基本法 障害者差別解消法 学校施行教育法施行規則 その他

医療	保健	福祉	販売店等	企業
病院 医師 ST その他	保健センター 保健師 その他	市役所 手話通訳者 児童福祉法 その他	補聴器 人工内耳 集団補聴システム その他	ハローワーク 就労移行支援事業所 障害者雇用制度 その他

保護者 子ども会 親の会
その他

聴覚障害児

大学等

地域
教育委員会 教育センター その他 管理職 特別支援教育コーディネーター その他
幼稚園等
小・中学校
高等学校
通常の学級
難聴特別支援学級
通級による指導(高等学校:H30運用開始予定)
教育相談 その他
聾学校

手話通訳
要約筆記
その他

◇参加者の皆様からの感想◇

「実際にどのように聞こえているのかを聞き、聞こえにくい子の世界が少しわかったような気がしました。」
 「サポートについては、年代別にお話していただけて分かりやすかったです。」

←資料の一部

※資料もありますので、必要な方はご連絡ください。